# **University of Wales Trinity Saint David**

## 月例報告書 October 2024

#### 1. どうしてイギリス留学を決めたの?

はじめまして!2024年9月~2025年7月にかけて約10カ月間、イギリス・ウェールズのウェールズ大学トリニティセントデイビッドに留学をしています。私が留学をしたいと思い始めたのはずっと昔、中学の頃からでした。英語が得意で自然と英語を学びたいと考えるようになったのがきっかけだったように思います。文芸大の長期留学の協定校の中で主な英語圏の大学はアメリカとオーストラリアとイギリスにあり、その中で学部授業を受けられるのはオーストラリアとイギリスの大学でした。私は当時漠然とヨーロッパに行ってみたい気持ちやイギリス英語に興味があったので、大学1年の8月にとりあえずIELTS for UKVIを受け、ウェールズ大学の入学に必要な Overall 6.0 の成績をとりました(試験対策は大変なので不安な子は最低でも3カ月くらい勉強した方が良いと思います)。

### 2. ビザ申請がしんどい! イギリス留学への道

イギリス留学といえばビザが厳しくてなかなか取れない!ということで有名なのはご存知ですか? 資金証明書、犯罪経歴証明書、成績証明書など、どれを準備するのにもとっても時間がかかります。ビザ申請に有効な資金証明書を手に入れるのに最低1か月はかかります。また書類によっては英語に翻訳したものを提出する必要があるので翻訳会社に依頼しているとお金も時間も沢山必要になります。ウェールズ大学に留学していた先輩はほとんどおらず、ビザ申請の手続きについては自分でイギリス政府のホームページを調べて情報を手に入れなければならないので不安と焦りで結構大変でした。留学の4~5カ月前から情報を集めて申請準備に取り掛かることをおすすめします!

#### 3. いよいよ留学開始!!

9月20日、ついに渡航日になりました。それまではイギリスでの生活や留学生活が楽しみで不安より期待でいっぱいでした。ただ前日になって徐々に海外でひとりで生活しなければならない不安が押し寄せ、当日空港でチェックインを済ませ家族と別れたあとはずっと涙が止まりませんでした。飛行機に乗ってからもどうしても涙が止まらず、何より海外経験がほとんどない私がウェールズまでひとりでたどり着けるのか、そもそも厳しいとされているイギリスの入国審査を通過できるのか、考え始めたらきりがないくらい心配でどうしようもなかったのを覚えています。そんなこんなで30時間以上の旅を経て、9月21日に無事ウェールズ大学に入寮しました。

### 4. 留学生は孤独? 高すぎる言語の壁。

私は大学の寮に住んでおり、フラットメイトは自分を含めて8人で生活しています。キ













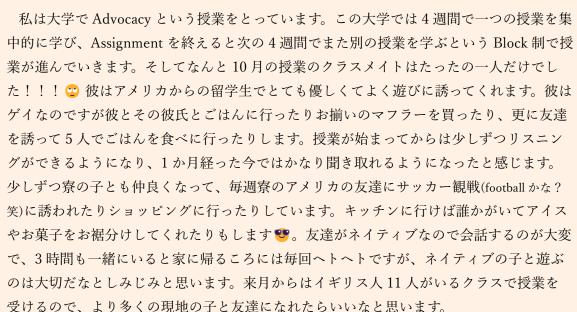


ッチンや洗濯機(洗濯1回でなんと800円・20)は共用で、冷蔵庫もみんなで場所を決めて使っています。寮に入って最初にフラットメイトと話したときに一番感じたことは、大きすぎる言語の壁でした。私の大学は留学生はいるもののそのほとんどがアメリカやカナダからの留学生です。日本から来ている学生は私だけです(一人だけ私以外に日本人はいましたが彼女はアメリカの大学から留学しています)。アジア人を見かけることもほとんどありません。そもそも他の留学生が英語のネイティブスピーカーで、フラットメイトが何を話しているのか理解ができず、複数人で話されるとそれこそ全く会話に入れませんでした。キッチンで皆で話している中、私だけが会話に入れずただニコニコしているだけの空間はあまりにも孤独で本当に辛かったです。こんな日が続いて、イギリスに来て最初の1週間は散歩をしていても買い物に行ってもキッチンで少しミルクティをこぼしただけでも涙が溢れて、朝から夜まで泣きやまず今思えばほとんど鬱みたいな状態でした・②。「英語を学びたい!」と思って来ている留学生や非ネイティブスピーカーが沢山いれば、互いに拙いながらも英語で会話をしながら友達が増えていくのかなと思います。しかし、私の大学は良くも悪くもほぼ全員が英語母語話者なので、あの1週間は人生で一番辛くて長い1週間でした。











昔どこかで「居心地のいい場所に成長はない」という言葉を聞きました。本当にその通りだと思います。日本にいても海外にいても結局自分は自分のままで、日本人だからといって興味を持たれるわけでもありません。留学開始から1か月が経って少しずつ積極的に話せるようにはなりましたが、未だに大人数での会話は怖くてキッチンで誰かが話しているのが聞こえるとなんとなく不安になります。それでも家族や友達に応援されて留学に来たからには10カ月後に自信を持って日本に帰れるように、自分を大切にしながらゆっくり焦らずに、より多くの人と関係を築いて充実した留学生活にしたいと思います。

